

## 第2回 砂川市立小中学校統合準備委員会 会議記録

○日 時 令和5年7月28日(金) 18:00~19:00 (所要時間=1時間)

○会 場 砂川市役所 2階 大会議室

○出席者

【委 員】 15名

【教育委員会】 7名

【事務局】 5名

○傍聴者 3名

○議事記録

1. 開 会

2. 挨拶 統合準備委員会会長

3. 報告事項

・家庭学習チャレンジ週間について

【議事の内容(要旨)】

事務局 ・家庭学習チャレンジ週間について  
「家庭学習チャレンジ週間について」ですが、小中連携事業として実施している家庭学習チャレンジ週間は、小学校段階から家庭学習に取り組む習慣を身に付けるとともに、学習内容の確実な定着と理解を深め、スムーズに進級・進学し、よりよい学校生活を送ることをねらいとして実施しており、中学校はテスト前2週間、小学校はテスト前の1週間を家庭学習チャレンジ週間としています。まず、議案の2、3ページに小学生低学年、高学年用のチャレンジシートがありますが、市内の小学校5校で同一の様式を使用し、学習目標の設定、振り返り、保護者からの励ましやアドバイスを記入してもらっています。なお、中学生は学年ごとにシートを分けて実施しています。学習時間の目安としては、学年×10分+10分としており、小1が20分、小2が30分、小3が40分、小4が50分、小5が60分、小6が70分、中1が80分、中2が90分、中3が100分としています。チャレンジ週間の取り組み後、保護者に対し、事後アンケートを実施しており、アンケート結果は別添1としてお配りして、自由記載についても抜粋したものを載せています。このチャレンジ週間は、中学校の定期テストに合わせて実施していますので、1回目は既に実施し、2回目は9月、3回目は11月、4回目は2月に実施します。事後アンケートは毎回実施する予定なので、本委員会にて報告します。

質疑、意見等 特になし

#### 4. 協議事項

- ①義務教育学校の校名について
- ②義務教育学校の校章について

##### 【議事の内容（要旨）】

事務局

##### ①義務教育学校の校名について

「義務教育学校の校名について」ですが、先月に開催しました第1回目の本委員会において、委員の皆様からたくさんの意見をいただきましたので、それらの意見を踏まえ、今回は具体的な提案をします。まず、校名は一般公募とし、応募された校名を本委員会で一次候補として、3案程度に絞り込みます。その後、市内の小中学生に意見を聞いて、その結果も参考にしながら本委員会で最終候補案を決定し、教育委員会へ提言して、教育委員会会議の決定を経て、学校設置条例について、市議会に上程する流れとします。応募資格は、(1)砂川にお住まいの方、(2)義務教育学校を応援する方、そして、ほぼ(1)に含まれますが、(3)市内小中学校の児童・生徒及びその保護者、(4)幼稚園・保育園に通う未就学児童及びその保護者として、具体的にすることで応募が増えると予想し、記載しました。この応募資格により、市民、児童・生徒、保護者、市外にいる元卒業生や砂川に想いを持ってくれている人のすべてが対象になります。募集期間は、10月2日までとし、応募方法は応募用紙をメール、FAX、郵送、持参のほか、電子申請方式で行いたいと思います。また、小学4～6年生及び中学生は専用の応募フォームを用意し、小学3年生までの児童は、義務教育学校の事を保護者と一緒に考えてもらうことも趣旨とし、応募フォームや応募用紙での応募としています。また、市内幼稚園、保育所、小中学校保護者あてに応募フォームのQRのついた応募用紙の配付と小中学校の保護者には一斉メール配信システムを活用して、直接応募フォームにリンクするような形で周知し、子育て支援センターやふれあいセンターなどにも応募用紙を設置したいと思います。一次候補の選定は、本委員会にて、応募された校名の中から3つ程度に絞り込みます。その際の選定の視点ですが、前回の委員会でいただいた意見を参考に、聞いただけで砂川だとわかる校名であり、小学校1年生にもわかりやすい校名を選んでいただきます。③の学校名選択は、絞り込んだ校名の中からどれが良いか、市内の小中学生の意見を聞きます。方法は投票形式とし、記載のとおり2案がありますが、実際に市の選挙管理委員会で使用している記載台や投票箱を借りて行うことで、投票についても学ぶ良い機会だと思いますので、A案を軸に考えたいと思いますが、学校行事や授業の関係等で実施できなければ、タブレット端末を使った電子投票も考えています。また、投票対象が小中学生と決定した際、投票方法は事務局と学校の協議により、決定させていただきます。子ども達の意見を聞いた後は、再度、本委員会にて、子ども達の意見を参考に、新しい学校にふさわしい校名の最終候補案を決定し、教育委員会に提言する流れとなります。なお、配付している応募用紙の案も確認いただければと思います。

会長

前回の意見がまとめられた事務局の提案です。9月1日より、応募を開始した

いということですので、協議を進めていきます。

応募資格の（１）、（２）だけで砂川に住んでいる全員が対象になりますが、意見ありますか。

募集期間は、令和５年９月１日金曜日から１０月２日月曜日まで、応募方法は、応募フォーム・メール・FAX・郵送・持参です。その他として、応募は１人１点まで、複数応募は無効となっています。小学校４年生から中学校３年生までは専用の応募フォームからタブレットを活用し、小学校３年生までは保護者と一緒に申し込み、小中学生の保護者は、応募用紙の配付と一斉メール配信システムで周知となっていますが、意見ありますか。

では、公募は、提案の通り進めます。

そして、応募が来た後は、一次候補選定を統合準備委員会で行います。選定の視点は、砂川をイメージできる、覚えやすい、書きやすい、言いやすい、親しみ・愛着が持てるとなっています。

質問なのですが、私達も校名を応募して良いのですか。それと、選定するときに応募した人の名前はわかるのですか。

事務局 委員からも応募していただければと思います。応募の際に、名前は書いていただきますが、公表はしないので、応募した人の名前がわかるのは事務局だけとなりますので、内容のみで選定していただきます。

会長 私も校名を考えていて、子ども達が覚えやすく、書きやすい校名は何が良いのかと悩んでいます。きっと、皆さんの頭の中にも校名の案があると思うので、「砂川市立〇〇」の〇〇の部分で１年生でも書けるような形で応募していただければと思います。選定するときの視点到追加したいことはありますか。

委員 ５点ある選定の視点は、このままで良いと思いますが、その他に、児童・生徒や保護者の願い、あるいは、校舎建設のコンセプトも含まれても良いと思います。

会長 児童・生徒の願い、あるいは、校舎建設コンセプトというのは、今までワークショップの中でも、ずっと話題になっていました。一次候補選定では、皆さんで協議して３案程度出していただきますので、よろしくお願いします。

それから、A案、B案がありますが、私は、子ども達が実際の投票箱などを使った投票を体験したら良いと思っていますが、別の案として、タブレット端末を使った投票もあり、学校との調整でA案かB案が決定されます。子ども達に投票をしてもらいますが、投票数が多いから「決定」とはしないで、投票結果を参考に、統合準備委員会最終候補を決定します。

続きまして、応募用紙に対して、何か意見はありますか。

委員 応募用紙の決定方法のところには、最終候補決定までしか書かれていないので、最終決定までの流れを明記した方が良いと思いました。それから、応募用紙の決定方法と協議事項４ページの②以下の記載内容が少し違うと思うのですが、あえて、記載内容を変えているのか教えてください。

会長 事務局、お願いします。

事務局 決定方法に係わる記載内容は、検討します。また、応募用紙には、最終候補の決定までしか記載されていないので、最終決定の流れまで記載したいと思います。

会長 他、意見ありますか。  
事務局、スケジュールの説明をお願いします。

事務局 9月に学校名を公募し、10月の末頃に統合準備委員会にて一次候補を選定し、1回で選定出来なければ11月にも統合準備委員会を開催して、選定することになると思います。その後、11月の冬休み前には、児童・生徒に学校名の投票をしていただき、12月の下旬、もしくは、1月の中旬に統合準備委員会を開催して、最終案を決定した後、教育委員会に提言し、教育委員会会議に議案として提出して、決定後、砂川市議会に上程するスケジュールで考えています。

会長 最終決定は市議会ですので、統合準備委員会では、最終案まで選定できればと思います。  
続いて、協議事項の2点目、「義務教育学校の校章について」、事務局より説明をお願いします。

事務局 ②義務教育学校の校章について  
「義務教育学校の校章について」ですが、令和8年度に義務教育学校が開校するにあたり、校章を新たに作るか、現在ある校章を利活用するかなどの検討が必要になります。校章の決定に係わる検討事項として、新たに校章を作る場合は、生徒や教員が制作したり、専門家に依頼したりする方法があると思います。他の自治体ではプロポーザル方式で委託業者を選定したり、公募で募集したり、市立の学校の校章を県のデザイン協会の会員限定でデザインコンペを実施したりもしていました。また、新築の学校であれば、設計事務所に制作している事例もありました。新たに制作する以外には、現在の校章を利活用することが考えられますので、現在の小中学校6校の校章を参考として掲載しています。他の自治体でも、砂川中学校と石山中学校の統合のように校舎をそのまま使う場合は現在の校章をそのまま活用しているケースが多く、また、いくつかの校章を分解して再構成するようなことも考えられます。そして、事務局案としては、今年度、統合を経験した砂川中学校の美術部員に、統合を経験した思いや、後輩達に対するプレゼントとして、新しい学校の校章デザイン制作を依頼したいと考えています。ただ、近年、権利に係る問題が多発していることから、登録商標、著作権問題に抵触することのないようにデザインの専門家に制作にあたっての指導、助言、選定も含めた制作支援業務を委託する方法を提案します。美術部員には、負担をかけてしまうかも知れませんが、デザインのプロにワークショップのような形で指導、助言いただくことにより、生徒のスキルアップやプロの姿勢も学ぶことができるというメリットがあると考えています。また、今の砂川中学校の生徒は、統合を経験した最初の生徒であり、最後の砂川中学校の生徒として、卒業を迎えるので、

義務教育学校に通うことはできませんが、その生徒達の想いを新しい学校に引き継いで欲しいと思います。最終候補の決定は統合準備委員会になると思いますが、一次選考は学内審査を行い、美術部だけではなく全校生徒で校章の候補を選んでいただくなど、美術部以外の生徒にも関わっていただき、校章を未来の後輩達へのプレゼントにしていいただければと考えています。なお、デザインの専門家は、できる限り、砂川に関係のある人を選びたいと考えています。

会長 参考として、議案に各校の校章が書かれています。由来がわかる人いますか。

委員 経営計画には、由来の記載があると思いますが、今は、わかりません。

会長 個人的に由来を知りたかったので、分かったら教えてください。新しい学校の校章に今の校章を使うというのも1つの案ですが、「砂」だけ書かれている砂川中学校や何も文字が書かれていない中央小学校ですと校章として使えるかもしれませんが、それ以外の学校の校章をそのまま使うのは難しいと思います。個人的には、砂川中学校のペンの中に「砂」と書かれた校章は悪くないと思うのですが、意見ありますか。

砂川に関係するデザインの専門家に助言をいただきながら、義務教育学校に行けない今の砂川中学校美術部が将来の学校をイメージして校章をデザインする事務局案に意見ありますか。

現在の校章を使いたいという人はいますか。いないようなので、砂川中学校美術部にデザイン制作を依頼することとしますが、何か懸念されることはありますか。

委員 砂川中学校美術部の生徒に校章をデザインさせていただけるという貴重な機会を与えていただけるのであれば、大変光栄です。

会長 砂川中学校美術部に校章デザイン制作をお願いするということで進めてよろしいですか。

委員 事務局案には賛成ですが、このスケジュールは、本年度の話でしょうか。校名は、今年度の3月に決まるので、その校名を知ってからデザインに入った方が、その校名にした思いをデザインに反映出来るので良いと思いました。

会長 事務局、お願いします。

事務局 スケジュール案は、今年度ということで、提案しました。事務局でも、学校名が決まっていないところが気になりましたが、統合を経験した思いを新しい学校に引き継いでいただきたいと思いました。また、校章の中に学校名が入っている場合もありますが、今年度、開校した他市町の義務教育学校では、市内に1つの学校ということで、校章に学校名が入っていません。なお、スケジュールは、11月に児童・生徒が学校名の選択を行い、12月の統合準備委員会で最終候補

案を決めることになっているので、校章に学校名を入れるのであれば、最終候補案はデザインに反映出来ると思います。

会長 意見ありますか。

委員 私も校名が決まった後に、校章を決めた方が良いと思いますが、校名が「スイーツ」になったから校章が「ショートケーキ」の形になるとは思えません。時間的にスケジュールを組むのが難しいのであれば、校章の最終候補を3つ程出して、最終決定を先延ばしにすれば、良いと思います。

会長 他、意見ありますか。校名決定のスケジュールは、11月に児童・生徒が学校名を選択となっているので、初めて校名の候補を見るのが11月になりますが、校章決定のスケジュールでは、10～11月に制作を依頼して、一次選定は12～1月という流れなので、校名のイメージを持ちつつ、デザインに反映することが出来るかもしれませんので、事務局はスケジュールの再調整をお願いします。校章も年度内に決定するスケジュールで進めていきます。

事務局 事務局でスケジュールを再調整して、年度内の完成という部分は変更せずに、校章制作の際に、校名がイメージ出来るスケジュールで進めさせていただきます。

会長 美術部が「校名は必要ありません」と言えば、スケジュールの再調整は必要ないので、その確認をお願いします。委員の皆さんは、砂川中学校の美術部に校章制作をお願いして、年度内に完成ということをお願いしておいてください。

これで、2点の協議事項を終わりますが、他に協議をお持ちの方いますか。

委員 学校名選択のところで、A案、B案がありましたが、貴重な思い出になると思いますし、電子投票では味気ないと思うので、学校と事務局でスケジュールを調整して、子ども達にA案の投票形式で体験させて欲しいです。

それから、校章決定のスケジュール調整ですが、制作する段階で学校名が「わかる」「わからない」とではまったく違うと思うので、スケジュールを調整してあげれば、美術部の生徒達も考えやすく、もっと良いデザインが出てくると思います。

会長 他、意見ありますか。

委員 学校名、校章の話ではないですが、先日の新聞で「学校や病院の工事が遅れている」という記事が載っており、他地域の義務教育学校で工事の遅れがあり、開校予定を1年間遅らせたという内容でした。建設業の人手不足や資材の高騰があり、建設業界は、すごく大変な感じですし、他の地域で工事の遅れがあったということは、砂川市でも工事が遅れる可能性があるのかと思います。万が一、工事の遅れがあった場合は、1年間遅らせるのか、学校を中途半端に作って、生徒を校舎に入れて、授業を行いながらグラウンドとか駐車場を工事するのかなどと思

ます。全員が、学校が完璧に出来上がってから生徒が校舎に入るイメージだと思うのですが、その辺がどうなるのか、分かる範囲で教えてください。

会長 事務局、お願いします。

事務局 北海道の人手不足というのは、建設業界もそれ以外も非常に厳しい状況になっていますが、建設業に関しては、札幌の駅周辺の再開発、新幹線の延伸などで人手がたくさん必要なので、人の取り合いや人件費・労務費が高くなる状況は、しばらく続くと思います。現在の砂川は、令和8年4月の開校に向けて、工程計画等を私達が掴んでいる状況の中で作ることができましたが、この後、道内の状況が厳しくなるのか、多少落ち着くのか、厳しくなっても計画を進めていけるのかというのは、今は判断出来ません。

会長 他、意見ありますか。

委員 令和8年4月の開校は難しいと思います。今、他市で学校の建設がスタートしましたが、作業員がまったくおらず、期日までに工事が終わらないかもしれないという状況です。札幌では、駅前再開発も含めた4～5件の大きな工事と新幹線延伸の工事があり、どの現場も作業員不足という状況なので、砂川市も早々に作業員を確保しておく必要があると思います。

少し違う話になるのですが、配付された学校名を募集するチラシは小学生向けのチラシですか。

事務局 配付したチラシは、一般向けで考えており、小学生用は、平仮名・振り仮名を使い、小学校4年生以上は、専用の応募フォームにアクセス出来るQRを付けるなど、もう少し分かりやすいチラシになると思います。

委員 このパースでは「学校名を付けたい」という気持ちにはならないので、「学校名を付けたい」と思えるパースに変更をお願いします。

## 7. その他

### 【議事の内容（要旨）】

会長 それでは、事務局、「その他」よろしくをお願いします。

事務局 2点あります、1点目、明後日30日、日曜日に、前回の委員会でもお伝えさせていただきましたが、9時45分から14時まで砂川遊水地管理棟にて『防災フェスティバル』が実施され、その中で『砂川市義務教育学校建設オープンハウス』を実施します。現在、市役所1階に展示している模型やパネル、動画での紹介に加え、義務教育学校内部のVR体験ができますので、是非お越しいただければと思います。

2点目、次回の日程ですが、9月5日火曜日、18時から、こちらの場所で開催したいと考えています。

会長

日曜日、砂川遊水地管理棟にて、VR体験ができますので、皆さんも、是非お越しください。

次回の日程は、8月ではなく、9月5日火曜日、18時、この場所になります。  
それでは、第2回砂川市立小中学校統合準備委員会を閉会します。皆さん、ありがとうございました。

以 上